

令和5年度9月教育委員会 会議録

開催日時	令和5年9月27日（水） 13:30～15:00	
開催場所	早島町町民総合会館 2階 集会室	
出席者	委員	白神敬祐教育長、綾野克紀委員、岡本善弘委員
	事務局	猪木浩二学校教育課長、吉見一成生涯学習課長、貝原丈雄課長補佐、赤堀恵一係長
会議次第	1 開会 教育長あいさつ 2 議事・報告案件 (1) 9月議会報告について (2) 熱中症対策の徹底と事故防止の見直しについて (3) その他 3 連絡 4 閉会	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	貝原丈雄	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>白神教育長：5点お話しをします。</p> <p>1点目は、町議会。佐藤新町長の所信表明の中で、教育委員会関係では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育による「早島町教育ビジョン」の推進 ・来年1月以降の給食費の無償化 ・小学校体育館の改築 ・中学校体育館と武道場への空調設備の整備 ・総合型地域スポーツクラブの早期実現 <p>を述べております。</p> <p>2点目は、働き方改革。【資料あり】</p> <p>資料内の教育委員会の「直ちに対応を図る」必要があるものところにある、学校給食費の公会計化は、今年度からしています。授業については、特定の教科を沢山行っているということはない。校務DXは、中学校の採点はシステムを使って時間を短縮できたとか、欠席連絡をフォームでしています。</p>

3点目は、全国市町村教育委員会教育長教育委員研究協議会が9月7日にリモートでありまして、綾野委員さんに参加して頂きました。

4点目は、町の総合防災訓練があり、対策本部会議が開かれ、平時に訓練や備えをしておくことも大切だし、従来にはなかった訓練や工夫も必要なのかなと思いました。

5点目は、学校園のことですが、新型コロナもなかなか減りませんが、集団風邪やインフルエンザも流行しているので、感染症対策や、昼間まだ暑い日もあるので熱中症対策もして教育活動を行っています。小学校の修学旅行が、来月の頭に奈良大阪京都に一泊二日であります。子ども達の良い思い出になってくれたらと思います。

綾野先生、リモート参加の会議でなにか感想などあればお願いします。

綾野委員：個人的には外部委託をビジネスチャンスと思うんですが、部活にすごく思いがある先生がいて、それはボランティアでやるべきだと熱弁されたり、他の教育委員会の方も、自分達が子どもの時はみんなやっていたし、先生と教室以外でのコミュニケーションで信頼関係が深まるので意味があるんですよと言われていましたが、働き方改革と対で考える話だと思います。とても参考になりました。

白神教育長：部活動の地域移行の話ですね。地域によって温度差があったり、環境の違いもあり、地域一丸となつてというところがなかなか難しい。

岡本委員：総合防災訓練で、町の防災マニュアルを改めて見ましたが、各地域の防災マニュアルを作れとありまして、コロナ前に話が進んでいたもので、うちの自治会では近々皆さんに、緊急の場合にはこういった体制で対応したいと、10月の終わりには表明しようと思っています。各自治会がしっかりと体勢を立て直さないといけないと思いました。

2 議事・報告案件

(1) 9月議会報告について

【資料：令和5年度9月議会報告】

綾野委員：体育館は改築ではなく建て替える？

猪木課長：建て替えです。小学校の体育館は鉄骨造で、鉄骨の部分は耐震化していますが、それ以外の箇所では体力度調査をして、その数値が基準値以下であれば危険改築という補助金を使えるようです。

綾野委員：その点検でどのくらいお金が掛かりますか。

猪木課長：100万円くらいです。

白神教育長：補助メニューを使わないと。教室不足もありますし、他の市や町なども参考に、プールはいるのかどうかという話しもあつたりします。

綾野委員：なくすという選択肢もあるんですか。

白神教育長：あるかもしれません。

猪木課長：プールは費用対効果が一番悪い施設で、今年も1学年1クラス5～6回しか泳いでいませんが、年間100万円程の維持管理費が掛かっています。老朽化が進んでいまして、今回配管が壊れていて100万円以上掛けて補修をしたり、ポンプも壊れかけていて、それもやると1000万円近くお金が掛かったり、今後30年間を見た場合、コンクリートもひび割れてきて水漏れが出てくるし、全面改装となると億の単位が掛かっていくのではないかと、色々な要素がある割には、年間であまり使われていない。最近では熱中症アラートが出ればプール授業は中止になります。他の学校では、近くにB&Gがあればそこへ行ったり、都会では民間のプール、スポーツジムなどに通い、そこで授業をして帰るなど。そういったことが出来るかどうか、プールの維持についてはどうしていくか考えなければいけない。プールが維持できなくなっている学校が増えてきています。

綾野委員：プールの授業はあまり重要視されていないんですか。

猪木課長：指導要領では、プールのない学校では無理にしなくてもいい。その代わりに座学でこんな事を教えなさいとはあるようです。実際に中学校にはプールがありません。

岡本委員：この前、玉野市の先生と話をしたときに、今後プールが使えなくなった時には、改修や新設はしないと聞きました。

猪木課長：先生のプールの維持管理も大きな負担になるようです。

綾野委員：防災の面で水の怖さは体験しないとわからないので、座学で済ますというのは考えないといけないと思います。

猪木課長：無くすのではなくて、近隣の民間プール、スイミングスクールに行くというのは必要だと思います。体育館だけではなく、プールの話も一緒に出てくるのかなと思います。駐車場不足の問題もあります。

白神教育長：2026年が小学校150周年だから、そのタイミングが間に合えばいいかな。

岡本委員：ラーケーションというのは、ただ遊びに行くのはもちろん認められなくて、家族と一緒に学習の意欲が含まれるものという捉え方ですか。

猪木課長：そうです。申請がいるようです。こんなところに行つてはどうかというのは愛知県ではあげているようです。観光の需要も増やすような目的も裏ではあるようです。ラーケーションカードを出して、どこに何をしに行くのかを事前に提出し、それを先生が認めましょうということで返す。これはけっこう大変なのではないかと思います。

綾野委員：ヘルメットも無償化になるんですか。

猪木課長：支給してはどうかということで、小学校ではランドセルを配っているんだから、全部給食費をタダにするとすごくお金が掛かるから、代わりにヘルメットを無償化したらどうなのかという話しです。

(2) 熱中症対策の徹底と事故防止の見直しについて

【資料：「熱中症対策の徹底と事故防止について」】

白神教育長：線が引いてあるところが変更点？

赤堀係長：注視して欲しい重要なところですよ。

白神教育長：うちは熱中症で何人運ばれてた？

赤堀係長：救急車で中学校2人です。

綾野委員：暑さ指数の3.1はどのような値なんですか。どうやって計算されているんですか。

赤堀係長：温度と湿度と輻射熱を総合的に鑑みて指数が出されるようになっています。熱中症指数計があります。

猪木課長：暑さ指数2.1未満が1番小さくて、MAX3.1以上。熱中症警戒アラートが出るのが、県内のどこかで3.3以上になると予想される時です。

赤堀係長：今年の夏は、3.3を超える日が3日ありました。湿度が高くて気温が低くて、肌感的には涼しいのに出てしまう時があり、汗が出やすく水分不足になり熱中症になりやすい判断が3.1です。

猪木課長：熱中症警戒アラートは県単位で出ますので、県内のどこかで数値が予測されると、岡山県全体に出ます。それなので各学校ごとに3.1を目安にして対応しましょうとしています。

(3) その他

【特に意見なし】

3 連絡

【レジュメに記載】

猪木課長：次回の教育委員会は、10月18日（水）。13：30～小学校で開催を予定しておりますので、よろしくお願ひ致します。

4 閉会